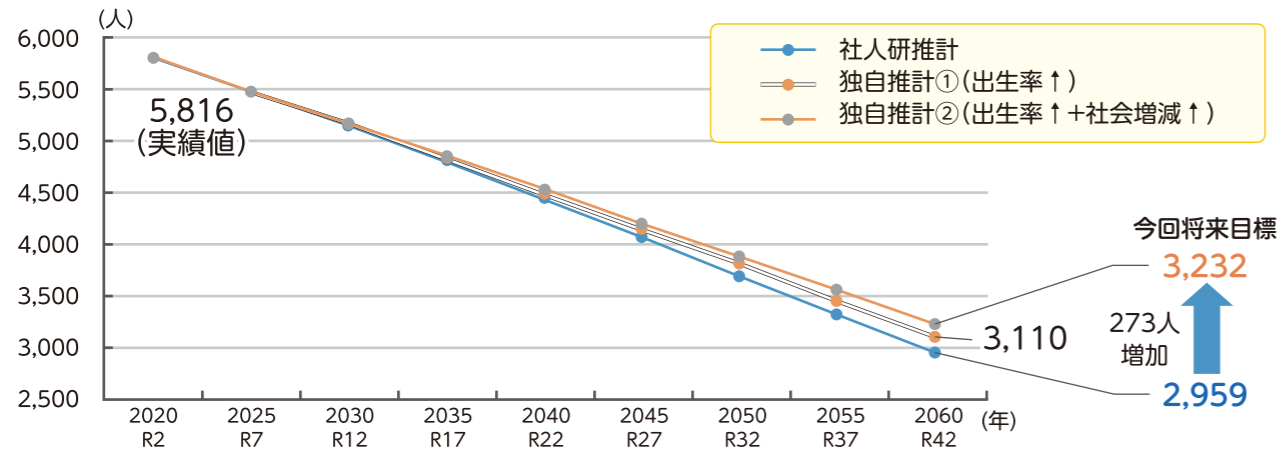


総合戦略ってなんだろう？

▶ 人口減少や地域の課題に対応するための重点的な行動計画

第3期総合戦略は、人口減少と東京一極集中という課題に対応し、神崎町が多様な人々に選ばれ、将来にわたり持続的に発展していくための基本的な方向性を示すものです。



将来展望(目標人口):2060年時点で3,232人

少しでも人口減少に歯止めをかけるために、第3期総合戦略では以下の事業に取り組みます。

基本目標	趣旨	主な事業
①【発酵するまち・こうざきのしごとづくり】	発酵を象徴に、農業・商業・観光・雇用を一体で盛り上げる。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発酵×オーガニックブランド推進事業 ■ こうざき独自認証ブランド米事業 ■ スマート農業推進支援事業
②【みんなが健やかに暮らせるまち】	健康・福祉・子育て支援など、生活の安心を守る。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発酵ウェルネス推進事業 ■ こども家庭センター整備事業 ■ 地域見守りネットワーク強化事業
③【未来へつなぐ安心のまち基盤】	防災・インフラ・環境を整え、安心して暮らせる地域をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ■ ハイウェイオアシス防災拠点化事業 ■ 空き家利活用事業 ■ 再生可能エネルギー導入促進事業
④【人と人がつながり、共に創るまち】	住民協働・デジタル化・人材育成を通じて共創社会を実現。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住民提案型まちづくり支援事業 ■ 行政DX推進・業務効率化事業 ■ 地域人材育成・リーダー研修事業

未来を見据えてワクワクするような事業を展開し、住民や各種団体、企業等と協力しながら人口減少対策を講じていくこととします。

令和8年度～令和12年度

神崎町第5次総合計画後期基本計画 第3期神崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略

概要版

総合計画って何だろう？

▶ 神崎町の今後のまちづくりの方向性と必要な施策をわかりやすく示し、その実現に向けた取り組みをまとめたとても大切な計画です。

- 本町には、子育て、教育、福祉、防災、環境、産業などさまざまな分野の計画があります。総合計画はそれらすべての基本となる最も重要な計画です。
- 総合計画は、町民・地域・行政が目指す方向を共有しながら、協働による持続可能なまちづくりを推進していくための土台となる計画です。
- 神崎町第5次総合計画後期基本計画は、令和8年度から5年間の計画として、まちが目指す基本目標や施策を示しています。
- 将来像にむけて取り組む各事業の進み具合の管理や評価の基準となります。

▶ 町民や地域の方々と一緒に作った計画です。

総合計画は、町民アンケートやワークショップ等を実施し、多くの町民や神崎町に関係する方々の意見を伺いながら策定しました。

計画の構成と期間

▶ 基本構想

基本構想は、町の特性や町民の意識と期待、時代変化の方向等を総合的に勘案し、目指す将来像と、それを実現するための基本目標及び基本施策の方針等を示したものです。

▶ 基本計画

基本計画は、基本構想に基づき、今後推進すべき主要施策を行政の各分野にわたって体系的に示したものです。

また、基本計画の分野ごとに今後5年間で目指すべき目標指標を定めています。

基本構想 10年間(令和3年度～令和12年度)

前期基本計画 5年間
(令和3年度～令和7年度)

後期基本計画 5年間
(令和8年度～令和12年度)

実施計画(3年間以上分を毎年見直し)



神崎町
Kozaki Town

神崎町第5次総合計画後期基本計画 第3期神崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略

概要版

発行: 神崎町
〒289-0292 千葉県香取郡神崎町神崎本宿163番地
電話番号: 0478-72-2111(代表) ファクス番号: 0478-72-2110
編集: 神崎町 総務課
発行日: 令和8年3月

基本目標

1

地域産業の持続的発展支援

5年後に
目指す姿



農業・商工業・観光が連携し、地域の強みである「発酵」やオーガニックの特色を生かした産業が力強く発展しています。
担い手の育成やスマート農業の推進により、生産性と収益性が向上し、安定した経営が実現しています。
特産品のブランド力や販路が拡大し、町内外から人と仕事が集まる好循環が生まれています。
若い世代も将来に希望を持って働き続けられる、活気あるまちになっています。

主な課題

- 農業を続ける若い人が足りず、この先の担い手が心配
- ICT活用を担う人材の不足によりスマート農業が進みにくい
- “発酵×オーガニック”の魅力はあるのに、町外・全国への発信がまだ弱い
- 観光に来て、町内の別のスポットへ回ってもらいにくく、買い物などの波及が限定的



主な施策

- 農業の振興
- 商工業の振興

■ 観光の振興



主な取り組み

- 担い手育成強化
- ハイウェイオアシス機能の充実
- スマート農業推進
- 発酵観光の体験型展開

主な指標

指標	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
新規就農者数(年)	1人	1人
スマート農業取り組み面積	376ha	451ha
道の駅来場者数(年)	76万人	129万人
発酵体験者数(年間)	530人	1,330人

基本目標

2

すべての世代に優しい福祉施策の充実

5年後に
目指す姿



子どもから高齢者まで、誰もが地域の中で支え合いながら安心して暮らせるまちになっています。
子育て支援や医療・介護、障がい者支援の体制が充実し、困ったときに気軽に相談できる包括的な支援体制が整っています。
健康づくりや介護予防の取り組みが広がり、住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持って暮らす人が増えています。
地域のつながりが深まり、誰ひとり取り残されないやさしいまちが実現しています。

主な課題

- 暮らしの悩みが複雑化し、どこに相談すればよいか分かりにくいという声
- 健診の受けやすさや周知が十分でなく、特に働き世代の受診が進んでいない
- 地域の支え合いの担い手(ボランティア)が減り、活動の継続に不安
- 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を、より一体的に受けられる仕組みが必要



主な施策

- 地域福祉の推進
- 健康づくりの推進
- 子ども・子育て支援の充実
- 高齢者福祉・介護の充実
- 障がい者福祉の充実
- 社会保障体制の充実

主な取り組み

- 健診環境整備
- 団体育成支援
- 受診機会拡充
- 伴走支援強化



主な指標

指標	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
特定健診受診率	40%	45%
高齢者健診受診率	28%	35%
ボランティア登録数	9団体	10団体
子育て環境満足度	53%	60%

基本目標

3

生活の質を高める環境の充実

5年後に
目指す姿

道路や公共交通、上水道、ごみ処理などの生活基盤が計画的に維持・更新され、安全で快適な暮らしが支えられています。

空き家対策や住環境整備が進み、地域の景観や生活環境が向上しています。

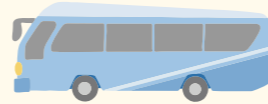
環境保全や再生可能エネルギーの活用も広がり、自然と共生する持続可能なまちづくりが進んでいます。

日常生活の利便性が高まり、誰もが安心して住み続けたいと思えるまちになっています。



主な課題

- 主要道路の整備に時間と費用がかかり、計画どおりに進める工夫が求められている
- 橋の老朽化が進んでおり、点検と補修を計画的に進めて安全を守る必要がある
- 循環バスなどの利用者が減る中で、便利さと採算の両立が課題
- 住宅のリフォームや耐震、空き家対策の制度が“分かりにくい・使いにくい”との声



主な施策

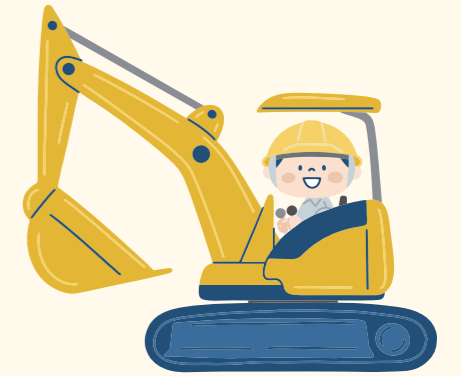
- 土地の有効利用
- 住環境・公園等の維持・確保
- 上水道の整備
- ごみ・環境問題への対応
- 道路・公共交通の充実

主な取り組み

- 幹線町道の整備
- 公共交通の充実
- 橋梁の点検補修
- 住宅改修支援

主な指標

指標	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
供用延長	—	1,280m
橋梁の点検回数(5年に1回)	2巡目	3巡目
循環バス利用者(年間)	7,979人	10,000人
住宅リフォーム補助件数	11件	15件



基本目標

4

緊急時対応への備えの充実

5年後に
目指す姿

防災・防犯体制が強化され、災害や事故に備えた安心できる環境が整っています。

地域ぐるみの防災訓練や備蓄体制の充実により、いざというときに迅速に対応できる仕組みが確立されています。

医療や救急体制の連携も進み、町民の命と暮らしを守る体制が強化されています。

安全で安心して暮らせる基盤が整うことで、これからも住み続けたいと思えるまちが実現しています。



主な課題

- 大きな災害に備えた初動対応や人材育成を、もっと強化する必要がある
- 防災訓練の参加者が固定化し、若い世代や新住民の参加が広がっていない
- 消防団の高齢化が進み、若い世代の参画や活動しやすい環境づくりが課題
- 防犯カメラや見守りなど、地域の見える安全対策を計画的に増やす必要がある



主な施策

- 消防・防災体制の充実
- 防犯・交通安全対策の充実

主な取り組み

- 防災組織の強化
- 消防団支援
- 住民訓練の拡充
- 防犯カメラの設置

主な指標

指標	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
自主防災組織結成数	3団体	10団体
防災訓練等実施回数	1回	2回
神崎町消防団員数	175人	187人
防犯カメラ累計設置数	1台	8台



基本目標

5

教育のまち・神崎の推進

5年後に
目指す姿

子どもたちが安心して学び、自分の可能性を伸ばせる教育環境が整っています。

学校・家庭・地域が連携し、郷土の歴史や文化を学ぶ機会が広がり、ふるさとへの愛着が育まれています。

生涯学習やスポーツ、文化活動にも多くの人に参加し、世代を超えた交流が生まれています。

誰もが学び続ける楽しさを感じながら成長できる、心豊かなまちになっています。



主な課題

- 一人ひとりの学びを支えるICT活用や、基礎学力の底上げを着実に進める必要がある
- 生涯学習の内容や方法をもっと多様にし、誰でも参加しやすくする工夫が必要
- スポーツの参加が伸び悩み、若い世代も含めて“楽しく続けられる場づくり”が課題
- 郷土の歴史や文化に触れる機会を広げ、世代を超えた交流をもっと増やしたい



主な施策

- 学校教育の充実
- 多文化共生社会の実現（男女共同・人権等）
- 生涯スポーツの充実
- 生涯学習の充実
- 芸術・文化活動の支援

主な取り組み

- 個別最適な学び
- 図書室機能の強化
- 生涯学習機会拡充
- スポーツ活動の推進

主な指標

指標	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
学校教育に関する町民満足度	—	85%
各種講座の受講者数(年)	229人	300人
図書室利用(年)	12,977冊	20,000冊
スポーツ関連事業参加者数	1,903人	2,000人



基本目標

6

明るく前向きな行財政運営の推進

5年後に
目指す姿

町民と行政が協力しながらまちづくりを進め、町の情報が分かりやすく発信されています。

デジタル技術の活用により行政サービスの利便性と効率性が高まり、町民の声が町政に反映される仕組みが整っています。

限られた財源を有効に活用しながら健全な財政運営が行われ、必要なサービスが安定して提供されています。

将来にわたり持続可能で信頼される行政運営が実現しています。



主な課題

- 若年層・高齢層の両方に情報が届く手段の強化が必要
- 住民同士が意見交換する機会が少なく、地域のつながりが弱まりつつある
- 依存財源に頼らない財政運営の確立が必要
- デジタル化の恩恵を受けられない高齢者や情報弱者が存在



主な施策

- 広報・広聴の充実
- 住民役のまちづくりの推進
- 機動力のある健全な行財政の推進
- 情報通信基盤の整備

主な取り組み

- SNS・デジタル発信の強化
- 財政の健全化と財源確保
- ワークショップの開催
- デジタル行政サービスの拡充

主な指標

指標	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
公式LINE友達登録者数	542人	3,000人
ワークショップの年間開催数	—	3回
ふるさと納税受入額	2,500万円	3億円
スマホ教室の年間受講者数	96人	200人

